

令和6年7月

梅雨の晴れ間、雲の白と空の青が目染みて、しばし見とれてしまいます。この感動を写真で表すことはなかなかできません。日本画家、福田平八郎の「雲」という絵を思い出しました。誰もが見たことのある白い雲と青い空の感動が見事に表されています。本校に飾ることができたら、清々しいだろうなと思います。

○ 卒業生のやす子さんがサプライズ訪問されました

高校生が一番好きな芸人ランキング第1位のやす子さん（本校2017年卒）が、テレビの収録で本校に来られました。やす子さんの訪問は生徒たちには内緒にして全校集会の校長講話のところでサプライズ登場してもらいました。



「ギャーギャー」という割れんばかりの大歓声と拍手で、体育館が揺れるほどでした。やす子さんも生徒からの大歓迎に「うれしいですーはい〜」と大変喜ばれていました。

講演では高校時代の思い出等を話していただいた後、最後に期末考査に向けてがんばっている生徒たちに向けてエールを送ってくださいました。生徒にとってエネルギーがチャージされるサプライズプレゼントになったなら嬉しいです。

校長室で、やす子さんに宇部中央高校の良いところを画用紙に書いてもらえますかと依頼したら、こころよく「自由に自分らしく学べる所です〜はい〜」と書いてくれました。本当にありがとうございました。やす子さんの郷土愛・母校愛はすごいです!!

○ 夏休みは、よく困り、よく学べ

人間の能力は認知能力と非認知能力に分けることができます。学力テストなど数値化できる認知能力（見える学力）に対して、非認知能力は数値化できないものの生きていく上で欠かせない能力（見えない学力）です。例えば、向上心、協調性、忍耐力などを指します。

この非認知能力が世界中で注目されています。それは、今、世界には課題がたくさんあり、その様々な課題を解決するために非認知能力がキーになると考えられているからです。学習指導要領が変わり、本校で探究活動に力を入れているのも同じ理由からなのです。非認知能力は大学入試でも、入社試験でも重視されてきています。つまり、面接や小論文、プレゼンテーション、グループディスカッションなどを通して、受験生の人となりや人間力をみられるのです。

非認知能力は就学前の段階で成長が顕著だが、学童期・思春期を通じて発達すると言われています。小・中・高校の段階で、他者の世話をしたり、リーダーとして組織をまとめたりしていく経験は、まさにこの非認知能力を鍛える格好の場となります。みなさんはこの夏休

みに、できればボランティア活動をしたり、部活動をしたり、探究活動をしたり、あるいは自分で決めた目標に向かって計画的に学習したりして、「よく困り、よく学ぶ」ことをしてほしい。

非認知能力を三つに絞って言うと、

- ① 自ら課題を見つけ、その解決に進んでチャレンジし、粘り強くやり遂げるよう自分をコントロールする力（問題発見能力、チャレンジ、課題解決能力、勤勉、自制力）
- ② 様々な経験から学び、簡単にはへこたれず、目標達成のために手段を工夫する調整力。（既習事項の活用、失敗を恐れない、自己肯定感、調整力）
- ③ グローバルな視点を持ち、自他を尊重し仲間と協力しながら、地域や社会に貢献する能力など（多様性や自他の尊重、協働性、社会性）

実はこれらは、本校のスクール・ポリシー（卒業するまでに育成したい生徒像）に該当します。日本の子育てや教育において、伝統的に重視されてきたものでもあります。失敗があってもいい、頑張れないときがあってもいい。へこたれずに今日を生きていくことが、明日へとつながります。

○ 宇部中央高スナップ写真アレコレ

■水泳部

中国大会出場の塩田朱梨さん（2年）に同窓会とPTAからの激励費を渡しました。200m自由型と100mバタフライに出場します。絶対に楽しむべし。エンジョイ&チャレンジ!!



■ライフル射撃

全国大会出場の藤井萌圭さん（2年）に同窓会とPTAからの激励費を渡しました。広島県で行われる全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会に、ビームライフル競技で山口県代表として出場します。絶対に楽しむべし。プリーズ、エンジョイ!!

■少林寺拳法

全国大会出場の白川椀楽さん（2年）に同窓会とPTAからの激励費を渡しました。女子単独演武の部で山口県代表として、北部九州インターハイへ出場します。絶対に楽しむべし。力を抜けば、力が出る!!



■陸上競技部

中国大会出場の古重笑愛さん（3年）に同窓会とPTAからの激励費を渡しました。中国陸上競技選手権大会に400mハードルで出場します。絶対に楽しむべし。無心で駆け抜ける!!



■JRCのボランティア

7月7日（日）JRC部の7名が小野田サンパークで「ダメ。ゼッタイ。」麻薬乱用撲滅の普及啓発運動を行いました。暑いさなかに道行く人に募金を呼び掛けている姿を見た本校の卒業生の方から、後日お手紙をいただきましたので、その一部を紹介します。



当日は、最高気温が35度を超える大変暑い日で、大変であったと思います。休日に自分の母校の生徒が暑い中社会のためにボランティアをする姿を拝見し、卒業生としてとてもさすがに誇らしい気持ちになりました。勉強に、部活動に、学校行事にと様々なことに一生懸命になれるのが宇部中央高校生のよいところです。まだまだ暑い日が続きますが、充実した高校生活を過ごされることをお祈りしております。平成6年3月卒業生（谷山紀章と同級生です）